



第49號

発行所 愛知縣額田郡幸田町中央公民館
印刷所 岡崎活版所

昭和二十九年年度予算編成概要 (町長、本多)

昭和二十九年年度一般会計予算の編成の概要について申し上げます。
本年度予算の編成については国の予算編成方針に即応すべく果当局よりも指示あり本町といたしましても、豊坂村との合併問題等も考慮して、不可避的経費については止むを得ないのでありますが、其他の経費に対しては徹底的な合理化を図り就中非生産的経費は極力これが抑制に努めた次第であります。

本年度は地方行政制度の改革に伴う処の地方税法の改正が予側され其の内容等も確実な見透しはできませんが、地方事務所よりの指示等に基づき充分検討いたしまして適正なる歳入規模の範囲内に於いて前述の方針で編成したのであります。
今此れを総括的に申し上げるならば前年度当初予算に比し六百有余万円増加にありますが此の主な費目は公務費の給与改訂に伴う人件費の増加、消防力の増強のための三輪自動車ポンプの購入、土木費に於ては

町内の道路網完成の爲めの改修費及御殿橋の架替費、大草保育園の園舎新築補助金等殊に本年は多年町民各位の要望でありました招魂社の移転も皆様の御理解ある協力により近日完成いたしました。此の御造営費も含まれて居ります。其外勸業費では土地改良費の補助、稚蚕飼育場の建設、社会施設費として公営住宅の建築費等が大体本年増加した主な費目で其他の経費は前年と殆んど大差はありません。

以上概要を申し述べましたが近頃改正地方税法も公布せられますから充分検討して幾分でも町民各位の負担の軽減に資したいと考へて居るものであります。
尙此の予算の運営に当りましては庁内の職員を督励して万全の注意と努力とを傾注し皆様の御期待に副うべき覚悟であります。但し町民の皆様の御理解ある御協力と御指導とを懇願する次第であります。

昭和29年度幸田町歳入歳出予算総計表

| 科 目 | 歳 入 | | 科 目 | 歳 出 | |
|----------------------------|------------|------------|-------------------|------------|------------|
| | 予 算 額 | 前 年 度 | | 予 算 額 | 前 年 度 |
| | 本 年 度 | 前 年 度 | | 本 年 度 | 前 年 度 |
| 1 町 税 | 35,150,604 | 31,325,004 | 1 議 会 費 | 1,037,760 | 663,760 |
| 2 地方 財 政 交 付 金 及 平 衡 交 付 金 | 1 | 1 | 2 役 場 費 | 6,948,321 | 5,872,957 |
| 3 公 営 企 業 収 入 及 財 産 収 入 | 119,322 | 6,581 | 3 消 防 々 犯 費 | 3,055,149 | 1,595,000 |
| 4 使 用 料 及 手 数 | 189,312 | 142,002 | 4 土 木 費 | 3,500,803 | 2,584,002 |
| 5 国 庫 支 出 金 | 3,418,330 | 2,310,081 | 5 教 育 費 | 8,670,000 | 7,003,000 |
| 6 県 支 出 金 | 922,607 | 605,202 | 6 社 会 及 勞 働 施 設 費 | 8,181,068 | 4,696,311 |
| 7 寄 附 金 | 971,470 | 850,002 | 7 保 健 衛 生 費 | 3,230,000 | 3,910,000 |
| 8 繰 入 金 | 40,000 | — | 8 産 業 経 済 費 | 4,857,479 | 3,495,443 |
| 9 繰 越 金 | 481,772 | 93,961 | 9 財 産 費 | 293,000 | 219,000 |
| 10 雑 収 入 | 1,370,659 | 1,217,440 | 10 統 計 調 査 費 | 49,650 | 81,200 |
| 歳 入 合 計 | 42,664,077 | 36,550,274 | 11 選 挙 費 | 203,000 | 178,600 |
| | | | 12 公 債 費 | 60,000 | 60,000 |
| | | | 13 諸 支 出 金 | 2,327,847 | 5,985,651 |
| | | | 14 予 備 費 | 250,000 | 203,350 |
| | | | 歳 出 合 計 | 42,664,077 | 36,550,274 |

祝 町制施行二周年

昭和27年4月1日県下79番目の町として誕生

町議会議長、 常任委員等更る

議長 墨江 貞治
副議長 山本 誠市
常任委員 (○は委員長)
総務委員 ○金沢仲次郎
平田 若松 貝吹 信次
鈴木寅之助 後藤 勝美
勸業委員 ○岩瀬健太郎
鈴木 末吉 清水 周平
都築友太郎 松山 新二
文教委員 石川 佐市 ○大津米太郎
牧野 宗一 山本 誠市
衛生委員 高橋 勘市 ○浅井 与市
金子たず子 有馬 茂男
星野 桑吉 ○鴨下 鏡平
中村 賢治 内田 義治
本多 源吉

木材引取税の 申告納付について

税務係

昭和二十九年四月一日から木材引取税を徴収することとなりましたので該当納税者は次の事項を参考とせられ申告納付して下さい。
木材引取税の納税義務者等
木材引取税は素材の引取に対してその価格を課税標準として立木の

伐採後の最初の引取者に課する。立木の伐採後三十日以内にその素材について引取者がないときは立木の伐採をもつて素材の引取とし立木の所有者を以て素材の引取者とみなす。

木材引取税の税率は百分の五とする。木材引取税の税率は百分の五とする。

木材引取税の申告並びに納税
木材引取税の徴収について立木の所有者を町長が特別徴収義務者に指定しこの立木の所有者が毎月二十日までに前月分を申告し同時に納付しなければならない。

罰則について
木材引取税の納税義務者が申告すべき事項を申告せず又虚偽の記載の申告をした場合は三万円以下の罰金を科せられる。

その他
尙詳しいことは幸田町役場税務課へ問合せ下さい。

寒菊栽培

成瀬 文雄

一、動機
分館鷺田の平均耕作反別は、田五反、畑二反で経営は小規模の部落であるから、耕地を最高度に集約利用する菊の栽培が行われているが、出荷期が五月から十二月までで、有利

農閑期の一月以降が困難視されている関係上、ビニール温床と、新品種の利用で、僅かばかりの体験を生かして寒菊栽培を試みた。
目標 ビニール利用で生産費を切り下げ、優良品を生産して価格を高める。

七坪 二、三三五坪のビニールはガラスに比べて六割の節減でしかも取扱は簡単、保温力も充分で非常に経済的である。

二、栽培の概略
芽挿 七月、八月、假植九月一日
定植九月十日 摘心九月二十日 支柱立九月二十七日

フレイム作り十月十五日
発蕾 十月三十日
開花 十二月二十九日から
二尺五寸の短冊床に四条植として株間八寸、三寸立て坪一五〇本の切花が得られる。

三、病害虫防除
病害、錆病、フテン病、ウドンコ病等
予防にダイセン一二号散布
虫害 蚜虫の発生にニツカリントの二〇〇倍液散布

四、温度
菊は短日性植物で、一般に日照時間によつて開花が左右されるが、寒菊の場合は特に必要である。

九月二四・九度 十月一八・六度
十一月十二・一度 十二月八・二度
一月五・五度
フレイム内月平均は
十二月 十二・五度(建覆す)
一月 九・六度(なし)

五、結果の考察
予期せぬ暖冬異変のため一般に開花が早まり、市価は大暴落で平年の1/3の価格であつた。
しかし非常に好評を博したのは近郊で品質のよいことが認められたことと信じます。

六、将来への希望
農閑期の余剰労力を強度に消化し冬の現金収入源としての寒菊栽培が簡単なビニールででき、有利なことが部落の人々に普及し、消費者に無限の喜びと充分の要求に応じたい。

来年の計画は、MH30によつて二月の抑制栽培、特に将来の希望は週年栽培で水田と菊のチームワークをとり、日進月歩の鷺田花卉園芸発展のため微力を尽し、楽しい明るい文化的な農業を営み、豊かな農村生活のモデル形成を覚悟して、青春の血たぎる若人のゆめといたします。





やさしい養鶏
育雛のはなし(三)
玉子

温度は九十五度と申し上げたが寒暖計も人間の作ったもので只寒暖計にばかり頼らないで、感で雛の心持ちを知るようにしたいものです。

即ち鳴声や、動作で適温か否かを知る。夜など寝る枕元にでも置いて観察する時は、此辺の動態をよく知る事が出来ます。二、三例を申しますと、温源に頭を向けて居るは温度が低い、反対に温源に尻を向けて居れば温度が高い。又就寝時大声にピヨピヨと鳴きさけぶは群からはぐれたので早速群中へ誘導してやる。ピヨピヨとさもなさけなそうな鳴き声で落付かないようでは寒いので、静かで時折ピヨピヨ、とさも満足そうに而もつくならず拡つて寝て居るようなれば先ず適温である。

適温であれば夜明前ともなれば、お腹が空いて、育雛器の中がそうぞうしくなる。反対に温度が低い場合は前日の餌が餌袋に残つて居て元気がなく、他人の糞で香を汚して居るようながある。

始め一週間位は乾燥し過ぎないように青葉が口広の水盤(雛の這入らないような)などを入れてやる。そし

て漸次湿気の無いようにむしろを乾燥するようにしてやる。平日以後ともなれば餌は喰べ放し、但し香水は絶対切らしてはならない。運動場も雛のひとなるに従つて少しづつ拡げて、前にも申し上げたように均等に食物の食得られるように注意すると不揃ひにならずよく育つ。二十日前後にコクシジウム病が出勝ちだから注意して予防する。温度は自温が昇つて行くに従つて少しづつ一週間に五度位の標準に下げて二十日乃至三十日位で抜く。五十日位に回虫の駆除、七十日位で棲木を入れてやる。それでないと竜骨が曲る鶏が出来る。尤も骨曲りは棲木だけなく餌から来る事もある。寒さを感じさせない程度で換気をゆるがせにしてならない。

又太陽の光線は安くて貴重なものでこの光線は十日以降から一日に五分か十分位づつ増して終りには出来るだけ充分に日に当て、やるようにして下さい。

コクシジウムと食あたりとはよく似て共に赤い血便をするけれども解ほうすると、コクシジウムは、腸のみ荒されて居て、時には盲腸の下部に白いものゝある事がある、食あたりは胃も腸も共に荒されて居るからよくわかる、コクシジウムは伝染病だから焼却処分した方がよろしい。

春蚕飼育の注意

一・二令

施肥も合理的に日当りのよい畑で前年に余り摘葉していない充実桑の枝条の中央部をとり、矮小枝、頂端の芽は最後に使いましよ。

温度七八度〜八〇度、乾湿の差二〜三度、経過が早いから常に桑不足しないよう特に掃立二日目の夕方〜三日目の朝五日目の夕方の給桑に注意しましよ。温度の高低にあわせたり桑不足だとワミ蚕頭スキ蚕が出ます。

三令

温度七五〜七七度、差四〜五度でよく充実した良桑中の良桑を与えましよ。三令の令中期間を長く保つて健全な体内器官を發育させることが今の品種では極めて大切です。眼前の桑不足は五令盛食期に禍します今の品種は桑を与えなくても、一定時間がたてば就眠するから最後の一匹までも飽食させましよ。

四令

以後温度は七二〜三度、差五〜六度、蚕産面積は尺坪百頭、三、四令に蚕の胸部の透けて見えるのは消食管に桑がないのだから給桑時刻を早目にするか桑畑をかえて良い桑を与えなければならぬ。就眠までの経

過を二〜三通りにわけける。

五令

桑付に際し濡桑を与えたり粗硬な桑を与えたり、桑付が早すぎたり、温度が低すぎると、起縮蚕が出ます桑付後、二、三日は蚕が食うだけ給桑して残桑がある上へ給桑するような取扱をしてはいけません。盛食期以後は僅かに残る位に充分給桑する。

今の品種は五令の低温には極めて弱いから不時の低温にあわせないと必ず焚火等により保温に力めましよ。毎年ゴロツキ蚕のできる家では用桑に気をつけ蚕産を乾燥させ戸障子をたてこめないように飼うがよい。

上簇、出荷

簇の古いものは水洗して使ひ上簇蚕数尺坪五十頭、温度七二度位でよから保温をして極力室を開放しましよ。上簇が多くなり繭検定成績がよくなるから必ず簇固めを使用しましよ。八疊一室では尿一斗を蒸発させることになるから、菘拔は上簇後二十時間以内に行いましよ。繭検定成績の選除繭歩合は多いだけ養蚕家の損になるから充分選別を行いましよ。



たくさんの車がお金をはらつて通る

三重県松阪と宇治山田の間を

日本で初めての国営有料道路が三重県の松阪市と伊勢神宮のある宇治山田市の間にできました。これは国営有料道路第一号で、去年の暮からたくさんの自動車がお金を払つて通つていきます。

この道路の長さは十軒、幅は七米半、セメントでしきつみられた真直な道で、両方の終点ともに橋の前にあつて、そこにはアーチ型のトール・ゲートが立つています。トールというのは英語で通行税のことですから道を走る車からお金をとる車の関所です。すべての車はこゝで止りお金を払つて切符を買い、この道を通ります。反対側から来た車を買つた切符をこゝで渡して行きま

す。お金をとる道だけに、セメントが二十五厘程の厚さにしきつめられ、幅も広く、走つていても少しもゆれず、すべるようです。反対側からの車とすれちがつても、止る必要ありません。バスが走ります。荷物をつんだト

ラックも走ります。自転車も走ります。みんなそれぞれ車の種類によつてきめられたお金をはらつて走つていきます。道に沿つて処々に車が故障した時、修理する所があります。国道と直角に交わる道があります

が、この道から来て国道を走り、関所の手前からそれてぬけ道へでしなう車があるといけないので、監視員をのせたジープが往復して見張りしています。この道路ができるまで松阪から宇治山田へぬけるには、これとは別の曲りくねつた悪い道を通つていました。二・八軒程長く、おまけにこぼこで道幅が狭いので自動車で四十五分もかかつていましたのが新道だと七分で走ります。総工費二億二千万円、十五年続けるともどがでるのみこみだそうです

参宮有料道路料金表

| | |
|-----------|------|
| 普通自動車 | 一八〇円 |
| 小型自動車 | 一三〇円 |
| 軽自動車 | 六〇円 |
| 特殊自動車 | 二五〇円 |
| 乗合型自動車 | 二五〇円 |
| 原動機付自転車 | 四〇円 |
| 軽車輻 | 一〇〇円 |
| 自転車その他の諸車 | 四〇円 |

参宮有料道路監理事務所

赤ちゃんの栄養

生れた赤ちゃんを育てるには母乳が一番よろしいのであるが、母乳の不足な場合には貰い乳をするか乳母を頼むかするがよい。

但しこの場合は健康な人の乳であることが大切で、母乳がない場合には人工栄養をとらなくてはならないのですがこの場合は牛乳及び乳製品が用いられる人工栄養にあつて注意しなくてはならないことは乳児の発育に応じてつまり月令に応じて、牛乳のうすめ方を加減すること、牛乳は新鮮なものを与えることなどで、これを誤ると消化不良や、発育不良をおこすものです。牛乳をうすめるにはそれが母乳の成分とちがつているからで母乳の蛋白質は牛乳と比較して少い。母乳と同じようにうすめると今度は糖分が足りなくなる。それは母乳に比較して牛乳の糖分は少いからである。そこでうすめた牛乳に適量の砂糖を加えるのである。うすめ方については医師によく相談をして間違いないようにせねばなりません。

それには保健所へ行き乳児の診断をして貰うと、それに適したうすめ方や与え方を親切に教えてくれます。又毎月十九日行う定例検診には役

場にてお教へ致します。

三ヶ月目からはリンゴやミカンの汁を一日一〇—二〇グラム位飲ませると乳児の発育がよい。

新鮮な牛乳が手に入らないときには粉乳を用いるとよい。粉乳は水を加えて牛乳と同じ濃さにし、これを温めて与えるのであるが、これも医師と相談し或はその使用方法に従つて嚴重にやらねばならない。

半年位からは離乳の準備を始めるがこの時期には重湯、くず湯果汁、衛生ポロ、ウエハスのような軽いものを少しずつ、野菜スープや鳥スープなど少量与える。一〇ヶ月位からはおまじりの薄がゆか、食パン、卵黄の半熟、野菜の裏ごし、軽い魚のすりこみ、豆腐、麩、カステラ、ピスケット、果汁などを与える。おかゆには白米を別に用いワイタミンに不足しないよう補給することを忘れてはならない。こうして一年の終りには離乳を完了するのであるが、離乳の時期の食べものや与え方も相当注意せねば失敗するから充分知識をもたねばなりません。

この頃の健康はやがてその後に来る健康状態に大きくひびくものであるからこれについても保健所又は医師にて相談せられたい。

女性向上の一条件

—美容体操をやりましょう—

この頃は婦人の間で美容体操がかなり盛んです。その理由を顔立ちが美しいだけでは女性の地位が確保されない時代になつたためだと考へてはいけないうか。美容体操は昔から均齊のとれた身体が美人の条件だつた欧米では早くから一般に行われ、わが国でも同じことが美人の「重要な資格」になつてから盛になつたのですが、この体操は婦人の地位向上と関係があるようです。そんな訳で「美しく健康な身体を作る」美容体操が婦人週間に記念して家庭婦人のため十二日からNHKの第一放送で日曜以外の毎朝十時三十分から十分間送られることになりました。平井氏作曲の伴奏にのつて、駆足の足踏みから始まり、運動は十二種類で一コースは約三分五秒。朝の仕事で疲れた肩や背をもみほぐすには、もつてこいの軽い体操で、和服ではちよつと困りますが、しかし人目のない部屋の中で一人でなさるので、特に水着等を着る必要はなく、動き易いセーター等でしたら結構でしょう。お年は二十から五十位までの方に向きます。終つてしつとり汗ばむ程が適度です。

人口動態 (2月分)

| | | | | |
|----|----|-----------|----|----|
| 出生 | 22 | {男女 9 13} | 累計 | 23 |
| 死亡 | 9 | {男女 4 5} | | 19 |
| 死産 | 0 | | | 10 |
| 婚姻 | 11 | | | 11 |
| 離婚 | 0 | | | 0 |
| | | | | 12 |
| | | | | 0 |

天命十訓 (四)

天命、今朝は雨ふりなり、雨ふれば雨ふるところ、即ち天性自然なり。天性自然の雨ふりに従つて、蓑笠を着して家業に出精いたす。これを道とす。この蓑笠を着用して家業に出精いたす道は、しばらくも離るべからず。離るゝ時は今日の道にあらず。今日の道にあらずして、蓑笠を着用せず、家業に出精いたさざれば、果して雨ふりの道にあらず。雨ふりの道にあらずして、濡るゝときは難澁に及ぶ。難澁におよんで後悔せざるものは、社会に少し。又曰く、少雨ふりに素して雨ふりに行く。村人入るとして自得せざるなし。

(二宮尊徳翁の言葉)

「発明の日」

四月十八日は「発明の日」です。今年はその第一回ですが、一八八五年(明治十八年)のこの日に、今の特許法のもとになった専売特許条令がしかれたからです。

この日を中心に一週間、特許庁では発明を奨めるために標語を募つたり、展覧会を開いたりします。尙来年は七十年記念を盛に催す筈。

増産百語

四月二十九日
天皇誕生日

五月三日
憲法記念日

五月五日
こどもの日

国旗を必ずお忘れなく。

第六回婦人週間

『婦人の実力を』

『育てましょう』

—婦人の経済生活が肝心—

育児講座 (三)



七、すり豆腐(十〜十二月) 五人分

材料 豆腐5丁 味噌10匁

人参4匁 煮出汁一合

塩、醤油少々

豆腐は熱湯にくぐらせ良く搾る。煮出汁を作り豆腐の中に徐々に流し人参の茹でつぶしたものを入れ塩醤油で調味する。

八、レバーをぼろ(十〜十二月)

材料 レバー(鶏・牛豚の肝)五匁

玉葱 一〇匁 人参一〇匁

塩、醤油少々

レバーに塩を少しふつて裏ごしにかけるか、庖丁で充分たいて細くし玉葱と人参のおろしをレバーの1/2位宛まぜ、醤油少しと水をひたす位に入れ、全体をよく混ぜてから火にかけ、色の変るまで攪拌して煮、あと蓋をして充分火を通す。

九、おも湯のとり方

材料 米五匁、水一立(米の十一倍)

塩少々、ガーゼ二枚

米を洗つてから、急ぐ時は三十分時間があれば一時間三十分位水に浸しておく。初め強火で炊き、煮立つたら火を弱くして約一時間煮、半量位に煮つまつたらガーゼを二枚重ねてこし、塩で味付する。

文化祭入選文藝

短歌

杉浦先生選

○仔牛 久保田 山本 秋湖
仔牛市近づきたれば常にまさり心を
こめて手入れする夫
別れ行く朝とも知らず牛の仔のかけ
めぐる背に白梅の散る

○若草 高力 志賀 ちづ
出勤にしばし間ありて白梅のかけお
く庭に自転車をつく
むらさきの暮色ただよう草原に乳牛
ひとり若草を食む

○客土 深溝 永井 一蝶
赤土の客土は日々増し来たり青々
としげる麦田の畦に
朝市へ出荷する野菜の水洗いすと夜
業にかゝる妻と二人して

○春耕 深溝 大竹 正枝
雨はれて畑を耕す若妻にうららけき
陽の鏡に光れり
○日常所感 高力 志賀 露華
休み日のひと日を畑に麦けずる子等
につくらむ温きもの

新しく入歯いれかえ若やぎてものい
う妻の今日はやさしき
忘れたる子の手袋に愛しくも眼にと
まじりたり小さき掌のふくらみ

二、俚 謠

天白庵主選

天 行事多彩に町民あげてほこる幸
田の文化祭 萩 草 月
すみれ握つた坊やの屋裏二人し
て見る日曜日 高力 砂樓生
人 西も東もみなみにきたる公民館
は天下一 紅縁紫
佳作 龍ながらも恋しい人の姿うつ
した春の月 深溝 正 枝
離れ離れに働く身にも今日は
楽しい文化祭 深溝 一 蝶
ネオン明るくあのレイヨンの
中で乙女が糸を紡ぐ 萩 幸 白

| | | |
|-----|------|---|
| 西浦行 | 7.1 | 5 |
| | 8.5 | 5 |
| | 10.0 | 5 |
| | 11.3 | 5 |
| | 13.0 | 5 |
| | 14.3 | 5 |
| | 16.0 | 5 |
| | 17.0 | 5 |
| | 18.3 | 5 |

バス

菱池停留所時刻表

四月十五日改正

| | | |
|-----|------|---|
| 岡崎行 | 7.1 | 0 |
| | 8.2 | 0 |
| | 10.0 | 0 |
| | 11.5 | 0 |
| | 12.5 | 0 |
| | 14.2 | 0 |
| | 15.4 | 0 |
| | 17.2 | 0 |
| | 18.2 | 0 |

三、狂俳 通り句

トサツ 峠茶屋椽見頃や集う人
どこで弾く三味のみさや月露
土手の陽に咲くや可憐の鼓草

鳥鳴ずる 野に行楽の人招く
郊外の道遙倦かぬ
詩の旋律を野辺に聞くと
妻中耕の鋤軽るい

も的 近代的なスタイルよ
美の象徴が魅力呼ぶ
と素 暇遊者運ふ手が温かい
輸血リレーの佳話に咲く

愛 馬百態の園に遊ぶ
りり 馬百態の園に遊ぶ
だた 園児愉快に春風う
んね 園児愉快に春風う
とは

返留 花の日本を去り惜しむ
雨で情の宿立てぬ
垣根なき交り温かい
防犯に協力しあう

隣同士 我が提案が通過せる
メモを示して汚職突く
父ちやん馬にして道わす
惚れられた体験語る

得意 俺らエンジンも心も軽い
ドライブ エンジンも心も軽い
ドライブ エンジンも心も軽い

遠望 陛下の幸田花霞む
大自然美に春描く
伊勢路遙かに舟見える

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 愛川 | 美望 | 崇水 | 倚川 | 晴月 | 草月 | 正枝 | 弄月 | 可笑 | 鬼童 | 良月 | 京山 | 良月 | 鬼童 | 弄月 | 思博 | 香花 | 司章 | 紫水 | 可笑 | 香花 | 倚川 | 良月 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|

縣立中央図書館 貸出文庫図書目録

第二一五号 G

- 1 哲学入門
 - 2 如何に生くべきか
 - 3 青年の書
 - 4 子の死と浄土
 - 5 大西郷とリンカーン
 - 6 陳夫人
 - 7 先人に学ぶ
 - 8 君らこそ日本を
 - 9 ペッドでのむ牛乳入りコトヒー
 - 10 原子爆弾の話
 - 11 果樹の作り方
 - 12 自然と人間のたゝかい
 - 13 こぶ
 - 14 新しい農業経営
 - 15 舞踏の歩み
 - 16 囲碁太平記
 - 17 現代の日本小説大系
 - 18 アーブルスビーチ
 - 19 次郎物語
 - 20 森鷗外作品集
 - 21 旗本くづれ
 - 22 日本小説代表作全集
 - 23 黄金部落
 - 24 照る日曇る日
 - 25 ハッタリ市長
 - 26 東京テレビ娘
 - 27 颯風の門
 - 28 レモンの月
 - 29 信仰・愛・希望
 - 30 結婚の生態
 - 31 隠るべき所なし
 - 32 本にもたれて
 - 33 よい足・よい眼
 - 34 トレントの最後の事件
 - 35 フラン
 - 36 恋愛小説集
 - 37 怪紳士
 - 38 少女百面相
 - 39 友情の齒車
 - 40 美しき旅路
- 第四号は引きつゞき
— 五月中旬まで —